

# 広島大学

令和6年度 広島大学光り輝き入試

総合型選抜Ⅱ型

## 出題の意図等

文学部 人文学科

欧米文学語学・言語学コース 言語学

科目名：小論文

解答の公表に当たって、一義的な解答が示せない記述式の問題等については、「出題の意図又は複数の若しくは標準的な解答例等」を公表することとしています。

また、記述式の問題以外の問題についても、標準的な解答例として正答の一つを示している場合があります。

分野	言語学
----	-----

[I] 以下の点について言及して説明すること。

- 言語記号は表すものと表されるものからなる。
- ソシュールは表すものを「シニフィアン」、表されるものを「シニフィエ」と呼んだ。
- 表すものは音声形式に相当し、表されるものは意味内容に相当する。
- 例えば、日本語で「ネコ」と発音した時、「ネコ」という発音が音声形式であり、「ネコ」という音声形式に動物の「猫」という意味内容が対応する。
- 音声形式と意味内容の対応は恣意的である。

[II] 以下の点について言及して説明すること。

- 規範文法は規範つまり手本となるものや標準となるものを予め定めるという態度をとる文法である。
- 記述文法は言語のありのままの姿を記録するという態度をとる文法である。
- 言語学では、記述的態度をもって言語に接する。
- 規範文法は外国語教育において有効である。

[III] 以下の点について言及して説明すること。

- 比較言語学は同じ系統に属すると思われる言語の比較を行う。
- 対照言語学は系統関係を考えずに複数の言語を比較・対照する。
- 比較言語学では一つの祖語(共通基語)から複数の言語へと分岐したという前提に立つ。

[IV] 以下の点について言及して説明すること。

- 言語は混沌とした世界を分節化(範疇化)する。
- 分節化の仕方は言語によって異なる。
- 言語の分節化の違いは異なる世界観を作る、又は言語の違いは世界観の違いを作る。
- B. L. ウォーフがサピアを引用しつつ提唱した説である。